

科目	管理会計論	担当	鈴木 愛一郎	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

管理会計は経営の意思決定に資する会計である。一般的には製造業の生産活動に深い関係がある。また、経営の意思決定といっても、日常的な業務にかかわるものから、中長期の経営資源の分配に関する経営戦略そのものにかかわるものまで幅広く、複雑な領域が対象となる。この授業では、管理会計の幅広い領域から経営分析を中心に扱う。理論的な学習に加え、実際の財務情報を使用し、企業の財務状況(ストック)と経営成績(フロー)を有機的に融合させた視点から、さまざまな角度からの経営分析を試みる。本授業の目標は、多くの事例研究を通じて財務諸表のリテラシーを高め、現在の経営状態がどのような位置にあるのかが把握できるスキルを身につけることである。

**【履修注意】**

「会計学」を履修していることが望ましい。エクセルの基礎知識があることが望ましい。

**【評価方法】**

定期試験、レポートおよび受講態度による。6回以上の欠席で不合格。20分以上の遅刻は欠席扱いとする

**【試験について】**

中間、期末に筆記試験を実施する。相対評価のため、再試験は原則実施しない

再試験対象者の条件： 病気、事故など特別の事情がある場合

**【予習・復習】**

復習を重視するため適宜、課題を課す。

**【教科書】**

指定はなし。

**【参考書】**

指定なし。

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	ガイダンス	管理会計、財務会計、意志決定
2	財務諸表とは何か(1)	貸借対照表、損益計算書、商法会計
3	財務諸表とは何か(2)	上場企業、金融商品取引法、有価証券報告書
4	収益性分析(1)	利益率、回転率、事業ポジション
5	収益性分析(2)	小売業、流通業、在庫管理
6	収益性分析(3)	製造業、設備投資、ファンドリー
7	流動性分析(1)	流動比率、固定比率、インタレストカバレッジレシオ
8	中間まとめ	1-7回のまとめ
9	流動性分析(2)	不良債権、バブル、ケーススタディ
10	内部留保(1)	資本金、剰余金、準備金
11	内部留保(2)	利益剰余金、資本剰余金、自己株式
12	連結財務諸表	単体決算、親子会社、法的規制
13	経営分析と生産性の分析(1)	損益分岐点、固定費、変動費
14	経営分析と生産性の分析(2)	損益分岐点、限界利益、経営レバレッジ
15	経営分析と生産性の分析(3)	生産性指標分析、サプライチェーンマネジメント、GEのケース
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ